

令和4年9月29日

各位

会社名 岡谷鋼機株式会社
代表者 取締役社長 岡谷 健広
コード番号 7485 (名証プレミア)
問合せ先 取締役企画本部長 長崎良視
TEL (052)204-8133

脱炭素社会に向けた取組みについて

異常気象や海面上昇、自然災害の増加といった気候変動に起因する問題は、年々深刻になっています。当社は、脱炭素社会に向けて、下記の通り取り組んでまいりますのでお知らせいたします。

記

1. 当社のこれまでの環境取組

1999年に「岡谷鋼機環境方針」を策定し、環境への取組みを経営上の重要課題と位置づけ、様々な活動に取り組んでまいりました。事業活動においては、リサイクル性の高い商品および省エネルギー・環境配慮型商品の取扱いを増やすとともに、事務所のLED照明への切り替えや、ハイブリッド車・燃料電池車、また風力発電街路灯の導入等を実施するなど、環境貢献活動に全社で取り組んでいます。

2. サプライチェーン排出量(Scope 1・2)の算定

当社は、脱炭素社会に向けた取組みの一環として、今回、当社単体のScope 1・2を算定しました。2021年度CO₂排出量(t-CO₂)は下記の通りです。

項目	t-CO ₂
Scope 1	553
Scope 2 (マーケット基準)	1,267
Scope 1 + Scope 2 (マーケット基準) 合計	<u>1,820</u>
Scope 2 (ロケーション基準)	1,408
Scope 1 + Scope 2 (ロケーション基準) 合計	<u>1,961</u>

3. 今後の取組方針

グループ全体でのScope 1・2および当社単体のScope 3の算定や、当社物流施設等への太陽光発電設備の導入など環境に配慮した様々な取組みを実施いたします。また、電動車や再生可能エネルギー向け設備・部品・素材等の環境配慮型商品の取扱いを拡大することにより、CO₂排出量の削減に今まで以上に取組み、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

以上

<ご参考>

- ・ Scope 1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- ・ Scope 2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- ・ Scope 3: Scope 1、Scope 2 以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)
- ・ マーケット基準: 報告企業が電力を購入している契約内容を反映して算定する方法
- ・ ロケーション基準: ロケーションに対する平均的な発電排出係数に基づいて算定する方法